

玉垣 多佳子さん  
京都市  
十四春旅館

新潟県白玉の湯泉慶の穴澤恵子さんからバトンをいただきました。京都の十四春旅館の玉垣多佳子です。

十四春旅館は元々製薬会社の社長様のご邸宅として建てられた建物を祖母が購入し旅館として営業を始めたのが約70年前になります。

す。旅館として建てられた建物でないため、

## 「古き良き」を感じる宿

お部屋にトイレや浴室がありませんし8部屋のみの旅館ですが、床柱から庭石や灯籠、土壁など至るところに上質なものを施し建てら

れたので、ありがたいことに国の文化財指定を受けております。

私は、この旅館の建物の中で小さい時からずっと育ってきたので建物の価値を昔はまったく分かっておらず、マンション暮らしに憧れていたりのです

すっかりと従事するようになり、年もとり(笑)今やっと私はこんな素晴らしい建物を引き継ぐことができ、この旅館を遺してくれた今は亡き祖母に本当に感謝しています。

京都の良さは、若い時でなく大人になって

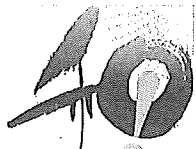
ていくように、十四春旅館の木造の床も年月を重ねた趣きあるツヤがでて土蔵に入りたいくつかのヒビでさえ、味わいとなります。

今ではもう作られることはない波うちガラスと呼ばれる手漉きで研磨したガラス越しに見る坪庭はウエーブしたように揺らいで見えるため、より一層お庭を幻想的に見せてくれます。京都の古き良きを感じたい方は、明治にタイムスリップしたような気分を味わえる十四春旅館にぜひお越し下さい。

が、お客様が旅館をすぐく褒めて感激してくださったり、こんな素晴らしい建物をずっと大事に守ってくださいね、とおっしゃってくださいるうちにだんだんと分かるようになってきました。

そして私が若女将として旅館のお仕事にして、いい色合いになっ

次のバトンは、群馬県の如心の里ひびき野の養田博美さんにつなぎます！



をもつてJKK  
全旅連・女性経営者の会  
リレーコラム  
Vol.135